



静岡市立大谷小学校

出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年6月15日(木)



「体験を通して実感を伴った理解ができ、
学びを深めることができました。」

静岡市立大谷小学校の6年生54人が、社会科の学習を深めるために、土器の分類、石器の試し切り、火起こしの3つの体験を行いました。

土器の分類体験

出土した本物の土器を分類しました。完形土器を見ながら特徴や違いを探し、土器片の細かなところまで見て、縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類に分類しました。それぞれの土器の焼き方などを知ることで、土器の特徴が分かり、分類のスピードも上がりました。

「弥生土器と須恵器の区別が難しかったけれど、触れてよかった。」



「あんまり切れないと思っていた。やってみたらすごく切れてびっくりした。」

石器の試し切り体験

石で野菜は切れないと思っていた子どもたちが、やってみたら意外に切れて驚いていました。黒曜石の切れ味の鋭さを知ること、石器が必要だったことを学びました。黒曜石が大変貴重な石であることが分かり、昔の人の大変さがわかったようでした。



火起こし体験

火起こしの歴史について簡単に説明し、その後、舞きり法でのやり方を丁寧に教えました。実際に弾み車を回し始めると、調子よく回し火種を作ることができました。うまく回せない子は、班の子が協力してあげて、回すことができ、火種を作りました。ロングフーフーもでき、やっと火を起こすことができました。

「腕の筋肉が痛かった。あともうちょっとのところで消えたりしました。ついて良かった。」



先生方の感想

「体験を通して実感を伴った理解ができ、学びを深めることができました。土器の質感や火起こしのやり方、石器の切れ味などよく分かりました。土器の分類では、さわったり、たたいた音を聞いたりして、その特徴や違いが分かりました。石器の試し切りでは、子どもたちが初めて石器を使い野菜を切りました。調理できることが分かったと思います。火起こしは子どもたちが夢中になって取り組んでいました。センターのみなさんには、丁寧な対応をしていただきありがとうございました。資料も用意してくださり、大変わかりやすい解説でした。子どもたちの歴史への関心が高まりました。」

6年生を担任するたびに、毎回出前授業をお願いしています。いつも内容に大満足です。今後ともよろしくお願いします。」

